



2022年2月14日

各 位

会社名 株式会社ニチリン
代表者名 代表取締役
社長執行役員 前田龍一
(コード番号 5184 東証2部)
問合せ先 上席執行役員 山本和生
TEL (079) 252-4151

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)個別業績と前期業績値との差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------|---------------|------------|--------------|--------------|----------------|
| 前期(2020年12月期) 実績(A) | 百万円 26,220 | 百万円 862 | 百万円 3,795 | 百万円 3,227 | 円 銭 226.72 |
| 当期(2021年12月期) 実績(B) | 30,524 | 1,773 | 3,713 | 3,452 | 242.63 |
| 増減額(B)-(A) | 4,304 | 911 | △ 81 | 224 | — |
| 増 減 率 (%) | 16.4 | 105.7 | △ 2.2 | 7.0 | — |

2. 差異が生じた理由

2021年度の世界経済は、2020年度の新型コロナウイルス感染症による深刻な影響からの需要の回復により、上期は好調に推移したものの、下期は感染の再拡大による半導体等の部品不足や輸送費・原材料の高騰により回復にブレーキがかかることとなりました。また、当社の主要事業分野である自動車業界は、上期は需要回復により好調に推移しましたが、下期は部品不足等による生産調整があり販売は伸び悩みました。

このような状況のなか、売上高は、下期は自動車各社の減産により影響はあったものの上期が好調であったことや輸出も堅調に推移したことから前期実績を上回りました。また利益面においても売上高の増加に伴い、営業利益は前期を大幅に上回ることとなりました。なお、経常利益は子会社からの受取配当金の減少により前期比でマイナスとなりましたが、当期純利益でも前期を上回っております。

以 上